

大会テーマ 「対話的活動による、生徒の発進力を引き出す授業」

1 期 日 平成30年11月14日(水)

2 会 場 秋田県立平成高等学校

3 日 程

(1) 受付

(2) 開会行事

部会長あいさつ 秋田県立花輪高等学校 校長 片岡 俊仁

会場校校長あいさつ 秋田県立平成高等学校 校長 加納 勇

日程等の説明、諸連絡

(3) 公開授業

コミュニケーション英語Ⅰ 秋田県立横手城南高等学校 普通科 1年

(授業者) 教諭 佐々木 瑞穂

コミュニケーション英語Ⅱ 秋田県立平成高等学校 普通科 2年

(授業者) 教諭 関口 カオ ALT Shelby Stark

(4) 研究協議(授業について)

授業者から

質疑応答

指導助言

秋田県教育庁高校教育課 指導主事 青山 博輝 氏

(5) 講演

演題 「私の海外体験」

講師 秋田県立大曲高等学校評議員 森田 克彦 氏

(6) 閉会行事

副部会長あいさつ 秋田県立大曲高等学校 校長 小椋 富二

諸連絡

【概要・感想】

公開授業では、佐々木瑞穂先生のコミュニケーション英語Ⅰの授業を参観した。フォトジャーナリストの山田周生氏の冒険旅行について読んだ後で、廃棄油の回収を英語で呼びかけるという内容であった。Warm-up 活動では、ペアでこれまで読んだ本文の内容を絵やキーワードを参考に1分間で retelling していた。次に事前に作成していたポスターを用いてクラス全体に「山田さんの立場になって、英語で廃棄油の回収の協力を呼びかける」発表をした。発表の際はアイコンタクトをしっかりと、ジェスチャーを多用するなど、発表する姿勢が身についていると感じた。発表を聞いた

生徒は英語でコメントをするなど対話的な活動ができていた。全体的に授業の雰囲気明るく、先生と生徒との信頼関係ができていると感じた。

講演では、秋田県立大曲高等学校評議員の森田克彦氏が「私の海外体験」をテーマにお話をされた。森田氏は40カ国以上訪れており、2度の駐在期間を含め約10年間海外に滞在した経験を持っている。その際に考えたことや日本と海外の違いなどについて興味深いお話を聞くことができた。

今回の大会を通して、生徒の英語での発進力を育成するための授業の在り方について考えることができた。授業実践してくださった先生方だけでなく、参加した先生方の教育に対する情熱も感じることができた。今回の大会で学び、考えたことを今後の自身の実践に生かしていきたい。